

(5) 効果

先進地の社会教育諸施設に宿泊し、現場研修を行なって経験を深め、各地域の婦人教育関係者との交歓共同研究によって研究主題の究明に得るところ多く、参加者各々が事後の活動において、地域一円の婦人教育に及ぼしている影響は極めて大きい。

5 婦人学級生大会

(1) 目的

産業構造のはげしい変革は、都市農村の別を問わず、必然的に成人婦人の地位と役割をかえ、重要性を加えることは明らかである。

かかる社会状況のもとで、婦人教育の振興をはかるため、県下の婦人学級生が一堂に会して研究協議をすすめ、共通的な問題についての具体的解決の方向を見出すことにつとめる。

(2) 期日、会場、参加者数

期 日	会 場	参加者数
37.1.17~18	河沼郡柳津町	205
1.26~27	石城郡四倉町中学校	200
1.28~29	須賀川市第二小学校	500

(3) 内容

① 実践報告

私たちは婦人学級で学んだことを生活の中でこのように生かしている。

② 研究発表

私たちはどのようにして課題をとらえたらよいか

③ 研究協議

ア だれもが参加できる学習組織づくりをするためにはどうしたらよいか

イ 婦人教育の課題とそのとらえ方はどうしたらよいか

ウ 学習はどのようにすすめれば生活に役立つか

④ 講義

社会教育における婦人教育の位置と婦人学級について 講師 文部省婦人教育課長 塩ハマ子

⑤ 歌唱指導

《七面鳥が逃げた》

⑥ 日程

第1日

10:00~10:30	開会式 日程説明
10:30~12:00	実践報告 研究発表と討議(座談会形式)
	昼 食
13:00~13:30	歌唱指導
13:30~14:20	討議を深めるための方向づけ(ロールプレイング)
14:30~17:30	研究協議
	夕 食・入 浴

19:00~20:30 宿舎における情報交歓会

第2日

9:00~10:00	部会報告と全体討議
10:00~12:00	講義
12:00~12:30	講評(パネルディスカッション)
12:30~12:50	閉会式

(4) 効果

学習活動の経験を通じた具体的問題が持ちよられ地についての研究協議が行なわれた結果、各地域とも事後の学習活動が活発に続けられるようになり、学習態度や実践にも積極性が加わった。

6 婦人教育指導の設置 1961

(1) 目的

婦人教育の重要性にかんがみ、県教育委員会事務局出張所ごとに婦人教育指導員を設置して婦人教育全般の振興をはかる。

(2) 36年度婦人教育指導員

出張所名	氏 名	住 所
信 夫	白石マツ	福島市上浜町128
伊 達	古宮千代	伊達郡保原町7丁目
安 達	喜古玉喜	安達郡安達町上川崎
安 積	森永 薫	郡山市名倉297
岩 瀬	深谷タケ	須賀川市大字越久字土橋
南会津	小沼きち	南会津郡田島町谷地甲
北会津	田崎チヨミ	会津若松市徒之町2
耶 麻	花見和子	耶麻郡塩川町大字小府根
両 沼	日黒敏子	大沼郡会津高田町字吉田
西白河	鈴木アキノ	白河市立石166
東白川	木村文江	東白川郡塙町大字塙
石 川	芳賀たけ子	石川郡石川町南町64
田 村	国分みつ	田村郡三春町北向町
石 城	鈴木きよ	内郷市綴町字町の内
双 葉	根本ハツノ	双葉郡大熊町大字夫沢
相 馬	神田つな子	原町市柴町3丁目78

(3) 効果

設置の趣旨に対する各方面の理解も深まり、婦人団体、婦人学級等の学習活動推進のよき助言者として歓迎され、適切な助言を行なって効果をあげている。

7 実験婦人学級、文部省委嘱婦人学級

(1) 目的

婦人学級は、婦人の自発的な学習組織として婦人の自主性を高め、生活と生産の知識、技術を身につけ、家庭人として、生産人として、社会人としての資質を向上し、明かるく豊かな家庭、新しい市町村建設の推進に役立っている。

しかし、その開設の仕方や内容、方法等について改善を要する問題が多いので実験的な立場から地域の特色を生かした婦人学級のあり方について研究をすすめる